

令和 7 年度第 1 回尼崎市保健所運営協議会議事要旨

- 1 日 時 令和 8 年 3 月 2 7 日（金）午後 1 時 3 0 分から 3 時 0 0 分まで
- 2 場 所 尼崎市保健所 集団指導室・プレイルーム
- 3 出席者 （委員 11 人）
 原会長、鎌谷副会長、落井委員、坂本委員、鈴木委員、富田委員、
 中村委員、伴委員、東根委員、安田委員、山下委員
 （事務局 15 人）
 濱田所長、豊島部長、牧部長、鈴井部長、田原課長、河合課長、畑
 課長、石井課長、松田課長、片山課長、新居課長、中課長、長谷川
 課長 ほか 2 人
- 4 欠席者 （委員 3 人）
 和泉委員、岩田委員、喜多村委員
- 5 議事録
 - （1） 開会あいさつ
委員の出席状況、傍聴者の状況（なし）の報告
 - （2） 尼崎市保健所長あいさつ
 - （3） 各委員紹介、事務局職員紹介
委員名簿に基づき、事務局より説明
 - （4） 会長、副会長選出（各 1 名）
会長...原委員、副会長...鎌谷委員
 - （5） 会長、副会長あいさつ
 - （6） 議題

尼崎市保健所等事業概要について 《資料 1 に基づき、事務局より説明》	
発言者	発言内容
会長	保健所の業務が多岐にわたるものだということがよくわかったかと思 います。 尼崎市は、子どもを産み育てやすいまちづくりということ掲げ、行政運 営されています。また安心な暮らしのための救急医療や、健康寿命を延ば すという意味でフレイル予防、普段の健康を増進させるという意味でがん などの大きな病気に対する予防を図っているということです。 尼崎市人口は 4 年連続で転入超過による社会増で、去年は 3,300 人以上 の方が他市から移り住んでおられます。またさらにその結果、人口が 500

	人も純増しているという現状です。 これは、尼崎市が住みやすい町になっていっており、また保健所がその基盤を支えてくださっていると理解してもいいかと思います。 母子保健、特に産前産後のケアの分野において様々な事業を実現して下さっておりますが、委員から質問や意見等はございませんでしょうか。
委員	初めての子育て等で不安を抱える母親が多くいるかと思うので、相談窓口の充実といった支援等が大切かと思っています。
会長	事務局側から、補足すべきこと等ございませんでしょうか。
事務局	今年度、産後ケア事業の見直しを行った結果、宿泊型は 1.7 倍、通所型は 4.6 倍と利用数の増となりました。
会長	その他に、委員から質問や意見等はございませんでしょうか。
副会長	尼崎市歯科医師会からは要望書を提出しているが、よく対応していただいていると思っております。
尼崎市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について 《資料 2 に基づき、事務局より説明》	
会長	尼崎市は保健所設置市のため、地域の実情に応じた感染症予防体制が行われるということがメリットです。それを実現するためには、このように運営協議会を開き、市民等が責任を持って意見を発する等の協働が必要でございます。 そうした状況において、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、尼崎市新型インフルエンザ等対策行動計画（以下、「行動計画」とする。）の改定が実現しつつあるということです。 質問となりますが、行動計画の改定後、対策項目として「リスクコミュニケーション」が追加されていますが、具体的にどのようなものを想定されていますでしょうか。
事務局	準備期としましては、感染症に関する情報を、行政、事業者、市民で共有し、感染症に関するリテラシー向上等を図る。 初動期としましては、新型インフルエンザ等の特性や対策等について、状況に応じた的確な情報提供・共有を行うとともに、コールセンター等の設置を通じた双方向のコミュニケーションを行う。 対応期におきましては、個人レベルでの感染対策が社会における感染拡大防止に寄与すること等を説明する。以上のように、改定後の行動計画では記載させていただいております。
会長	新しい感染症がどのような病気かはっきりとわからない状況下では、感染した方々が言われのない差別を受けたり、また病気に関する必要以上の不安をあおる情報が拡散する等といったいわゆるインフォデミックとい

	う状況が発生しました。そうした状況を防ぐため、「リスクコミュニケーション」に関する項目が追加されたということかと思います。 学校現場において、意見等はございませんでしょうか。
委員	学校においては、インフルエンザ等の感染症の蔓延を防ぐことはなかなか難しい状況です。そのため、生徒たちに手洗い・うがい等の予防を促すとともに、情報を収集しているというのが学校の現状です。 学級閉鎖については、各学校にて判断することとなっていますが、欠席者数や欠席原因がインフルエンザによるものなのか等、総合的に判断するものであり、適切な方法を都度模索しております。
会長	新興感染症等の拡大等に伴い、様々な治療薬が不足するといった場面も想定されますが、薬剤師会として、懸念等はございますでしょうか。
委員	新型コロナウイルス発生当初は、治療薬がなかなか出てこなかったが、現在は有効とされる治療薬が確定している状況です。急激に感染症が広がった場合であっても、必要箇所には十分な薬剤を供給できるよう、会員薬局等と協力しているところです。
会長	新型コロナウイルス感染症が流行した際、在宅療養にならざるをえなかったという状況等がありましたが、そのような中で地域において見聞きした困りごと等について、お教えいただけますでしょうか。
委員	まず、新型コロナウイルス感染症の発生以降、学校においては、学級閉鎖等の感染症に対する対応が早くなったと感じているところです。 また、高齢者の対応に関しては、担当地域の範囲外についても助け合いをしていく必要があるのではないかという話が出ています。
委員	高齢者には情報が届きにくいという現状がありますので、社会福祉協議会や民生児童委員会に対し、行動計画に基づき、素早く感染症に関する情報発信をしていただけるとありがたいです。
最近の結核の動向について 《資料3に基づき、事務局より説明》	
会長	尼崎市では、高齢者に次いで20代30代の若年層の結核発症者が増えており、その若年層の90%が外国出生の方々であるということが示されました。そうした状況下において、外国出生の方々との地域共生を図っていくため、市内の日本語学校への健康教育の継続等を実施していくとの説明がされました。 質問ですが、入国前結核スクリーニングによって、結核の集団感染は防ぐことができるのでしょうか。
事務局	全国的な取組みである入国前結核スクリーニングによって、日本国内における結核の集団感染予防に一定効果があると考えております。

会長	本日の議題については以上になります。最後に事務局からお願いします。
事務局	本日いただきましたご意見等につきましては、今後の保健所運営等に活かして参りたいと思っております。 本協議会は年に1回程度開催させていただいており、次年度の予定はまだ決まっておりません。御意見いただきたい案件、お伝えしたい案件等かが出てきましたら、改めてご連絡いたします。
会長	これをもちまして、令和7年度の尼崎市保健所運営協議会を閉会させていただきます。

以 上